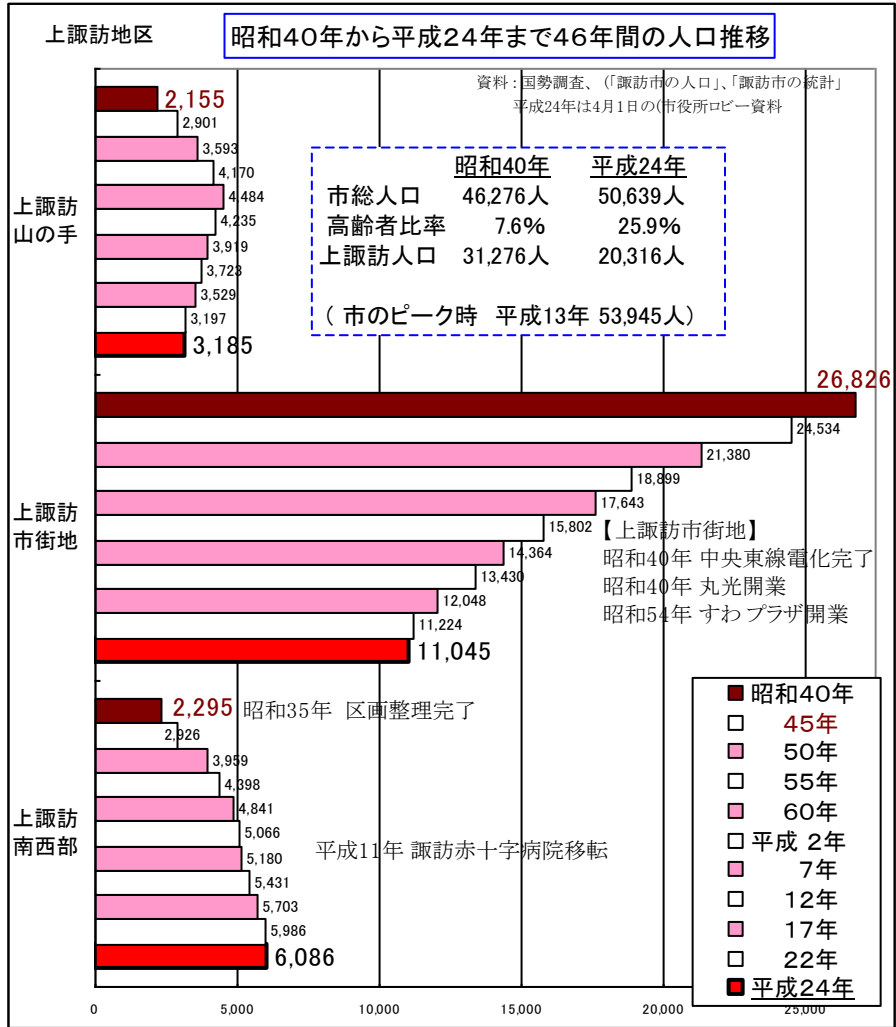
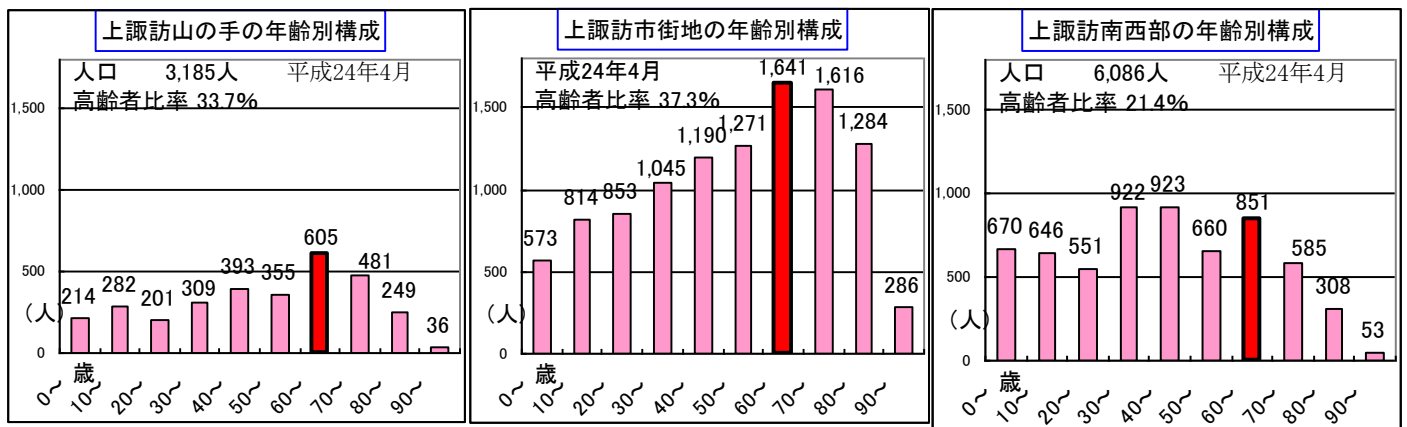


上諏訪地区の人口減少と少子高齢化の進行

昨年8月に東部地区の高齢化と人口減少の資料を出しましたが、今回は上諏訪地区全体についてのデータをご紹介します。東部地区の動きは上諏訪全体の動きと連動しています。

◆少子高齢化の進行 高齢化率では上諏訪市街地が37.3%、山の手が33.7%と3人に一人以上が高齢者で、60歳以上の人数が非常に多いのが特徴です。これにひきかえ、水田の宅地化や商業地化がすすむ南西部地区では30歳、40歳代の人口が多く、子ども世代の0歳～9歳の人口は上諏訪市街地の人数を上回っています。 (注: 高齢者とは65歳以上の人)

◆上諏訪市街地や山の手地区の人口減少の進行 上諏訪市街地はここ46年間に26,826人から11,045人へと59%、約6割も減少しました。住宅団地造成によって人口増加した山の手地区は、高齢化により同様に減少しています。少子高齢化のなかで人口減少はこれからも更に続きます。将来像をどう描きながら地域づくりを進めるか、地域の大きな課題です。



- 上諏訪地区の3区分**
- 上諏訪山の手
双葉ヶ丘、尾玉、金山、
緑ヶ丘、くるみ台、
角間新田、強清水
茶臼山、桜ヶ丘、立石、
 - 上諏訪市街地
上と下の2地区を除いた
戦前からの市街地 50町内会
 - 上諏訪南西部
島崎1,2、城南1、みどり、
杉菜池、洪崎

